

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 1 2 3
平成 20 年 2 月 14 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

学校ホームページ

学校ホームページを公開した方がいいのではないか、という気持ちは、きっと皆様お持ちのことと思います。

実際、その通りなのです。むしろ、公開しなくてはならないくらいになってきています。

企業などでは、ホームページを持っていることが当たり前になって、効果的に発信できたことで、業績が飛躍的に伸びた例は数多くあります。これは、企業がホームページを有効に活用し、企業イメージの向上や、情報公開に役立てているからです。

学校のホームページは、企業のものとは、その目的や内容は異なるものの、インターネットの普及率が上がり、情報収集のもっとも一般的な手段になりつつある今、「開かれた学校」の一つの形として、説明責任(アカウントビリティ)を果たし、情報公開の即時性、学校の顔としての役割を持つようになりました。

しかし、公開するに当たっては、様々な課題が立ちはだかっています。

- ・誰に向けて、何を発信するのかを決めなくてはならない
- ・情報公開の制限が気になる(個人情報、著作権、肖像権など)
- ・公開できるだけのスキルを、誰もが持っているわけではない
- ・担当者を決めると、そこに負担が集中する(なり手がいない)
- ・コンテンツ(内容)作成から公開までの流れが滞りやすい
- ・コンテンツが集まらない

などです。

これらを一気に解決することはできないながらも、たとえば、ページの作成では、ワープロソフトが使えれば、保存の仕方ですべてホームページの形のファイルを作ることができますし、作成から公開までも、みんなが学校ホームページでの情報公開の意味づけを理解できれば、自ずと流れていくようになります。

学校ホームページの公開は、もう、他人事ではないのです。

ここに、1冊の本があります。ここには、こういった疑問や解決法についての一つの解答が示されています。学校にもあります。そう大きな本ではありませんから、一度お手にとっていただきたいと思います。学校ホームページについて、いろいろな方面から、よくわかるように解説されています。

